健康

市健康政策課（市保健センター）
❶母子保健担当
☎784－8034 ファクス 784－8139
❷健診・健康づくり担当
☎784－8080 ファクス 784－3281

休日・夜間の診療

【内科】❸休日応急診療所
☎784－8171 ファクス 784－8141
▷土曜＝18：00～21：00▷日曜、祝日＝9：00～12：00／18：00～21：00

【小児科】❹阪神北広域こども急病センター
☎770－9988 ファクス 770－9905
▷平日＝19：30（診察は20：00から）～翌6：30▷土曜＝14：30（診察は15：00から）～翌6：30▷日曜、祝日8：30（診察は9：00から）～翌6：30

【歯科】❺市口腔（こうくう）保健センター
☎・ファクス 783－0078
▷日曜、祝日＝9：00～12：00
（受け付けは11：30まで）

【眼科・耳鼻咽喉（いんこう）科】休日夜間急病診療所
☎06－6436－8701
ファクス 06－6431－9301
（尼崎市水堂町3－15－20）
・眼科▷日曜、祝日＝9：00～16：00
・耳鼻咽喉科▷土曜＝18：00～20：30
▷日曜、祝日＝9：00～16：00
※休日・夜間の医療機関の案内などは、「いたみ健康・医療相談ダイヤル24」
0120－783－990

❻県伊丹健康福祉事務所（伊丹保健所）
☎785－9437 ファクス 777－4091

市国保特定健診
後期高齢者

対象は40歳以上の市国保加入者と後期高齢者医療制度の被保険者。

市国保加入者は受診時に受診券が必要（後期高齢者医療制度の被保険者は不要）。対象者には5月下旬に受診券を郵送します。4月以降の加入者は、❷健診・健康づくり担当に受診券の請求を。受診方法などは次の通り。

【市内実施医療機関で受診】直接、市内実施医療機関に健診日などの問い合わせを。無料。市内実施医療機関が分からない場合は❷健診・健康づくり担当へ。

【集団健診で受診】日程は▽6月13日㈪＝女性が先▽7月5日㈫＝男性が先。いずれも午後、市保健センターで。

定員各70人。無料（要予約）。追加検査・検診で、肝炎ウイルス検査・大腸がん検診、前立腺がん検診（昭和48年3月31日以前生まれの男性のみ）も併せて受診できます（満65歳未満は有料）。大腸がん検診を希望する場合は健診日の1週間前までに申し込みを。

◎30歳代の健診　昭和58年4月1日～平成5年3月31日生まれの市民を対象に、市保健センターで実施（要予約。子どもの同伴可）。

▽日時＝6月7日㈫午前▽定員＝65人▽受診料＝1千100円▽検査項目＝血液検査、尿検査、血圧測定、身体測定、腹囲測定、診察、問診。栄養相談や体組成測定あり。

◎胃がん・肺がん検診（アスベスト関連疾患検診）　日程と会場は**左表**の通り。検査は午前中のみ。定員あり。

対象は▽胃がん・肺がん検診＝昭和58年3月31日以前生まれの人（妊娠中や放射線（かくたい）治療中などの人除く）▽喀痰（かくたん）検査（肺がん検診とセット）＝昭和48年3月31日以前生まれで喫煙指数（1日当たりの本数×年数）が600以上である人（過去における喫煙者含む）。容器は事前に送付。痰をとって検診当日に持参を。当日の問診の結果、受診できない場合もあります。

受診料は▽胃がん検診＝500円▽肺がん検診＝100円▽喀痰検査＝400円――です。満65歳以上は無料。

肺がん検診に併せて、アスベスト関連疾患検診も受診できます。無料（肺がん検診料は必要）。肺がん検診申込時に申し出を。

＊　＊

㊐はがきかファクスに住所、氏名（ふりがな）、性別、生年月日、電話番号、希望する健（検）診名、受診希望日、集団健診は被保険者証番号、追加検査・検診名（なければ「なし」）を書いて、〒664・8503伊丹市役所健診・健康づくり担当へ。電話や**下二次元コード**から電子申請も可。先着順。

健（検）診日の約10日前に受診案内を送付します（予約が取れない場合のみ、健診・健康づくり担当から連絡）。

◆乳がん検診（マンモグラフィー）　対象は、昭和58年3月31日以前生まれの女性。令和3年4月1日以降に市の乳がん検診を受けた人か、妊娠中や治療中などの人除く。受診料1千700円。満65歳以上は無料。

受診方法は次の通り。

【市内実施医療機関で受診】市内実施医療機関は▽市立伊丹病院▽近畿中央病院（車塚3）▽ばばブレストクリニック（西台1）。各医療機関へ直接、申し込みを。

胃がん・肺がん検診　日程と会場

月	日（曜日）	会場
5	26日㈭B	サンシティホール★
6	21日㈫A	人権啓発センター
	26日㈰A	防災センター※

受付時間は午前9～11時（★は9時半から）。Aは男性、Bは女性が先に受診。※は乳がん検診も実施

いたみびょういん便り
循環器内科部長　山本　聖

ドキドキしたり息切れを感じたりしていませんか。不整脈による症状かもしれません。また、症状がなくても不整脈を指摘される場合もあります。

不整脈は、いろいろな種類があり、心不全や脳梗塞など生命に影響する病気を引き起こす可能性があります。無症状の人は発見が遅れ、重症になりやすいとも言われています。

かかりつけ医に相談して、市立伊丹病院で精密検査を受けてみませんか。明らかな症状がなくても携帯型心電計と2週間ホルター心電図検査で不整脈が見つかることもあります。

同院は皆さんの健康寿命を考慮し、相談の上、適切な治療を提供していきます。

【防災センターで受診】日程は▽6月2日㈭＝午前9時▽26日㈰＝午前9時、午後1時（午前のみ胃がん・肺がん検診（要予約）も実施）。定員あり。要予約。

申し込みは、電話かファクスで❷健診・健康づくり担当。

★高齢者の肺炎球菌感染症（接種費用一部公費負担）　対象は、市から予防接種券が送付され、今まで23価肺炎球菌ワクチンを接種（任意接種含む）したことのない▽**左表**の生年月日に該当する▽60～64歳で身体障害者手帳1級相当の心臓、じん臓、呼吸器の障害またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害がある（身体障害者手帳か診断書持参）――接種希望者。

来年3月31日までに市内実施医療機関（要予約）で1回接種を。接種料4千円。

【やむを得ず市外にある医療機関で予防接種を希望する場合】市保健センターで申し込みが必要です。

【長期療養疾病の治療のため医師より接種対象年齢の間、接種不可と指示されていた場合】医師が専用書式に証明し、市保健センターで事前申請すれば回復から1年間接種の対象になります（条件あり）。

㊐市保健センター☎784・8034。

高齢者肺炎球菌ワクチン対象者

昭和32年4月2日～33年4月1日生まれ
27年4月2日～28年4月1日生まれ
22年4月2日～23年4月1日生まれ
17年4月2日～18年4月1日生まれ
12年4月2日～13年4月1日生まれ
7年4月2日～8年4月1日生まれ
2年4月2日～3年4月1日生まれ
大正11年4月2日～12年4月1日生まれ

助成します
予防接種の再接種費用

市は、予防接種の再接種費用を助成します。対象などは次の通り。

【対象】▷骨髄移植▷末梢血幹細胞移植▷さい帯血移植――により定期予防接種の再接種が必要と医師が認め、再接種日時点で20歳未満の人。

【助成内容】予防接種法に定められた疾病（結核除く）の予防接種の再接種。

【助成金額】医療機関に支払った予防接種料か市が定める予防接種料のいずれか低い方の9割に相当する額（所得制限あり）。

医師が専用書式に証明し、要事前申請。

市保健センター☎784－8034

応援します
あなたの健康づくり

市は、医師、薬剤師、健康運動指導士、歯科衛生士、保健師、栄養士などを健康づくりの講師として派遣しています。

グループの健康づくりに役立てませんか（希望により内容調整可）。

実施日などは次の通り。

▽実施日＝来年3月31日まで▽会場＝申込者が市内で確保（費用も申込者負担）▽対象＝10人以上の市民グループや団体（1回限り）▽講師料＝無料。

㊐市保健センター☎784・8080へ。

6月4～10日
歯と口の健康週間

伊丹市歯科医師会は「歯と口の健康週間」にちなみ、「歯・口の健康に関する図画・標語入りポスターコンクール入賞作品の展示と表彰」を行います。

▽展示期間＝5月27日～6月8日▽表彰式＝6月2日㈭午後3時45分。

いずれもスワンホールで。当日直接、会場へ。

㊐伊丹市歯科医師会☎783・0133。

健康寿命を延ばそう
フレイル予防DVD
貸し出します

市は、市内の高齢者が集まる団体にフレイルの説明や予防のポイント、クイズが視聴できる「フレイル予防DVD」を無料で貸し出します。

貸出期間は２カ月です。

申し込みは直接、市保健センターへ。

市保健センター
☎784－8080